

2024年5月27日 週刊住宅

「居住支援窓口を開設 外国人需要増、法人支援へ」

ビレッジハウス	外国人需要増、法人支援へ
ビレッジハウス・マネージメント（東京都港区、岩元龍彦社長）は、外国人の新規問い合わせや契約、居住する外国人が日常生活の中で直面する日本特有のルールやマナーなどの困りごとを解決する居住支援専用窓口「インターナショナルサポートチ	ーム」を開設した。同チームには、ポルトガル語、英語、ベトナム語に対応するオペレーター22人が在籍し、契約まわりのサポートや住まいの困りごとなど、さまざまな問い合わせに母国語で対応する。同社の法人契約の入居
戸数は、外国人雇用増加を背景に、外国人の需要増や半導体関連を含む建設需要増などで前年比約2割（1966戸）増加した。	また、個人契約でも外国人の入居は前年比17・7%増だった。法人契約のニーズに対応するため、同チームでは法人営業部と連携し、外国人材を受け入れる企業をサポートする。